

これまでをこれからに

令和4年12月に第Ⅲ期申請を行うにあたり、スーパーサイエンスハイスクール指定校として2期10年のこれまでの歩みを検証し、これからのビジョンをデザインしながら、具体的な実行計画を作成しました。

平成25年度に「科学を主導する人材育成のための教育課程及び指導方法の開発」を、平成30年度に「未知なるものに挑むUTO-LOGICで切り拓く探究活動の実践」をそれぞれ研究開発課題に設定しました。中高一貫教育校としての特色を生かして、理数教育の教育課程、教科「ロジック」など、地域からグローバルに展開するプログラムを開発してきました。全教科で探究の「問い」を創る授業及び教科の枠を越える授業を推進するとともに、中学の「宇土未来探究講座」から高校の「ロジックプログラム」等の学校設定科目への効果的な接続や指導方法について改善を重ねるカリキュラムマネジメントを行ってきました。また、産・学・官連携及び国内外ネットワークの構築を図ってきたところです。

第Ⅲ期申請では、研究開発課題を「ウェルビーイングを目指し、UTO-LOGICを駆使して新たな価値を創る科学技術人材の育成」とし、「学際的な理数教育と探究の「問い」から価値を創造する授業デザインの実践」、「社会と共創するためにUTO-LOGICを駆使する探究活動の実践」、「学校設定科目 Well-Beingの開発とシチズンサイエンスの実践」に取り組むことを企画しました。

また、主対象を全生徒とし、教科「ロジック」をアップデートした学校設定科目「ロジックプログラムⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、数学と情報の融合科目でデータサイエンスを学ぶ「Well-BeingⅠ・Ⅱ」を課題研究に関する取組とします。これまでの中進・高進、文系・理系、SS・GS等に細分化したクラス編制を、「自然探究コース、社会探究コース」の2コース編制に改め、文理融合の学びを推進します。

2020年11月15日、アメリカ合衆国の民間宇宙企業「スペースX」の新型宇宙船「クルードラゴン」が打ち上げられました。搭乗クルーの1人、野口聡一さんはスペースXの強さの秘密を3つ挙げています。イノベーション、アジャイル、ラジカル。

私は、SSHの取組をマネジメントする責任者として、組織が効果的に機能するよう、地域や国内外の多くの人たちを引き込み、巻き込めるよう、この3つを大切にしています。本校の教育スローガンは「創造・挑戦・感動」です。新しい発想で何かを創造する挑戦には、困難や苦悩、躓きや失敗が連続します。そこからのアクションに感動があります。その推進力がinnovation, agile, radicalだと考えています。

結びに、御指導を賜ります文部科学省、国立研究開発法人科学技術振興機構、SSH運営指導委員、御支援御協力を賜ります研究教育機関、事業者、宇土市、熊本県教育委員会をはじめとする関係者の皆様方に心からの敬意と感謝を申し上げます。これまでの歩みを大切にしながら、これからも生徒、教職員、学校が一体となって、進取敢為のレジリエントなサイエンス人財の育成のために挑戦を続けて参ります。引き続き御指導御助言を賜りますようお願い申し上げます。